(別紙資料1) **体育科年間指導計画(2018)**

大分市立戸次小学校

<u> </u>							<u>- 18)</u>	<u> 18</u>	<u>特</u>					人方印立户次小子校										
学期	芦期 1学期								2学期				3学期											
月	4.	月		5,	月		6)	月	7月	9	月		10	月		11	月	12月	1月			2月	3月	備考
週	1	2	3	4	5 6	7	8	9 10	11 12	13 14	15 1	6 17	18	19 2	20 21	22	23 24	25 26	27 28	29	30	31 32	33 34 3	35
	\	体	ゲーム	走·跳	器械 器具を使	っての運	動遊び	水	遊び	走 跳の運動	表現リス	ズム遊び	走跳	ゲー	ーム	器	器械 器具	体つくり	体	うくり		ゲーム	ゲーム	
1年	\	体 ぐ の 動 ③	鬼遊 び③	か けっ こ③	マット遊び ⑥	鉄棒び		遊 浮く 遊	慣れる び⑥ もぐる び⑤	かけっ こ・リレー 遊び⑥	表現込	遊び⑤ 遊び⑤	跳び 遊び ⑤	ゲー	ルなげ -ム⑩	固施の動び	跳び箱 遊び⑥	移動・力 試し⑥	バランス		Ļ①	鬼遊び ⑤	ボールけり ゲーム⑧	
	体	ゲ-	-스	走·跳	器械・器具を使	っての運	動遊び	水	遊び	走・跳の運動	表現リス	ズム遊び	走跳	ゲ-	ーム	器	器械∙器具	体つくり	体1	つくり		ゲーム	ゲーム	
2年	体 ぐ の 動 ③	鬼道	遊び う	か けっ こ③	マット遊び ⑦	鉄棒び		遊 浮く -	慣れる び⑥ もぐる び⑤	かけっ こ・リレー 遊び⑥			跳び 遊び ⑤		ルなげ -ム⑩	固施の動び	跳び箱 遊び⑥	移動・力 試し⑥	バランス	く・用具	Ļ①	鬼遊び ⑤	ボールけり ゲーム⑧	
	体	ゲ-	-스		器械追	動		浮くう	iぐ運動	走・跳の運動	表現	運動	走跳	の運動	ゲー	ム	器械運動	体つくり	体つくり	ゲー	-ム	走・跳の運動	ゲーム	
3年	体 ぐ の 動 ③		ック -ス ル⑤	マッ	小運動 ⑦	鉄 ^材 動			重動⑥ 軍動⑤	かけっ こ・リレー ⑥	リズム	見⑤ .ダンス ⑤	小 ハ ー 走	ドル	プレルオ 9 保健		跳び箱 運動⑦	移動・力 試し⑥	バラン ス・用具 ⑤	ポー ボー <i>/</i>		幅跳び ③高跳 び③	タグラグビ・ ⑧	– 105
	体	ゲー	-ム		器械追	動		浮く・シ	ìぐ運動	走・跳の運動	表現	運動	走·跳(の運動	ゲー	ム	器械運動	体つくり	体つくり	ゲー	-ム	走・跳の運動	ゲーム	
4年	体ぐの動 ③	ハ: ベ- ボー	-ス	マッ	小運動⑦	鉄 ^林 動		泳ぐ	重動⑥ 軍動⑤	かけっ こ・リレー ⑥	リズム	見⑤ ダンス ⑤	小 ハ ー 走	ドルレ	キャッ・ ンーボー 保健	-ル9	跳び箱 運動⑦	移動・力 試し・組 み合わ せ⑥	バラン ス・用具・ 組み合 わせ⑤	セスボール		幅跳び ③高跳 び③	タグラグビ・ ⑧	- 105
	体	ボール	レ運動		器械追	動		フ	〈泳	陸上運動	表現	運動	陸	上力	ドール	運動	器械運動	体つくり	体つくり	ゲー	-ム	陸上	ボール運	動
5年	体 じ の 動 ③	テ ^ノ ボー	ィ ー ル⑤	マッ	小運動⑥	鉄 ^林 動	幸運 ④	平方	ール⑥ kぎ⑤ 健④	 短距離 走・リ レー⑤	フォーク	見③ ウダンス ②	ハ ー 走	ドル	ソフトバ ボール 保健	6	跳び箱 運動⑥	力強い動き及 び動きを持続 する能力を高 めるための運 動⑤	体の柔らかさ 及び巧みな動 きを高めるた めの運動④] L + L = _	ール	走り幅跳 び③走り 高跳び ②	サッカ ー ⑥	90
	体	ボーノ	レ運動		器械逞	動		フ	〈泳	陸上運動	表現	運動	陸	上力	ドール	運動	器械運動	体つくり	体つくり	ゲー	-스	陸上	ボール運	動
6年	体 ぐ の 動 ③	テノ ボー		マッ	小運動⑥	鉄 ^村 動		平流	ール⑥ kぎ⑤ 健④	短距離 走・リ レー⑤	フォーク	見③ ウダンス ②	ハ ー 走	トル	ソフトバ ボール 保健	レ⑥	跳び箱 運動⑥	カ強い動き及 び動きを持続 する能力を高 めるための運 動⑤	体の柔らかさ 及び巧みな動 きを高めるた めの運動④] [<u></u>	ール	走り幅跳 び②走り 高跳び ③	サッカー⑥	90
		<u> </u>						木	IXE (4)						木 建	4 /								

^{*}月ごとの区切りがきっちりとはできないので、この時数を目安に取り組みをお願いします。

^{*}体育館の内容と、運動場の内容を大体交互に入れていますので、隣り合った内容で、内・外の実施をお願いします。

(別紙資料2) 第5学年 体育科学習指導案

日 時: 平成28年10月12日(水)5限

場 所:大分市立戸次小学校 体育館

対象:5年1組 27名(男子13名、女子14名)

指導者:T1 西山 美緒、T2 藤澤 貴紀

|めざす子ども像| 課題解決に向けて意欲的に取り組み、技能をつけていく子ども

研究主題

一人一人が楽しく取り組み、技能を伸ばす体育学習はどうあればよいか

研究仮説 自分にあっためあてをつかませ、解決していく手立てを工夫すれば、一人一人が楽しく

学習し、技能を伸ばしていくであろう。

1 単元名 陸上運動(走り高跳び)

2 単元の目標

- ○次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身に付けることができるようにする。(技能)
 - ・走り高跳びでは、リズミカルな助走から踏み切って跳ぶこと。
- ○運動に進んで取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。(態度)
- ○自己の能力に適した課題解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫できるようにする。(思考・判断)

3 指導にあたって

(1) 単元観

①指導者から見た特性

- ・(構造的特性) 「リズミカルな助走から上方への強い踏み切り・バーを跳び越すための巧みな空中動作・ 安全な着地」といった一連の動作がある運動である。高く跳ぶことを目指す運動であり、 その記録が数値で表されることから、自己の目標が立てやすい。
- ・(効果的特性) 足に力を入れて運動することで、基礎的な筋力、特に跳躍力が養われる運動である。また、体の様々な動きをコントロールすることで、瞬発力や調整力が高まる運動である。

②児童から見た特性

・(機能的特性)調子よく踏み切って「ふわっ」と跳べた時の気持ちよさや跳べるか跳べないかという高さへ挑戦する楽しさを味わうことができる。跳び方をしっかりと身に付けることで、より高く跳べるようになり、記録が伸びる楽しさを味わうことができる。また、グループで技能のポイントを互いに見合ったり、教え合ったりするときに楽しさを感じることができる運動である。

(2) 児童観

本学級は、27人(男子13人、女子14人)である。体育に関するアンケートをとると、以下のような結果が得られた。

質問内容	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	嫌い	
運動は、好きですか。	18人	4人	3人	2人	
	14人	9人	1人	3人	
	○ 体を動かすことが	好き。楽しいから。	○運動が苦手で、できないと落ち込む。		
体育は、好きですか。	○ 体力をつけられる	00	〇運動ができれば好きだけど、できないから。		
	○ みんなと運動する	ことが好き。	〇運動すると疲れて、	その後の授業のやる気	
	○ 授業が楽しい。		がなくなる。		
	│ ○ 汗をかくのが好き				

全体的には運動が好きな子が多く、活発な子どもも多いが、体を動かすことを億劫に感じている子もいる。 15名が社会体育で運動をしている。(多い順に、水泳、バスケ、野球など)体育の時間は、運動があまり得意でない子どもも、目標をもって意欲的に取り組む姿が見られた。休み時間は、外で遊ぶ子と室内で過ごす子の2極化が見られる。ごぼうチャレンジでは、全員参加を目標に取り組んだ。お互いに誘い合って、参加

し、目標クリアを素直に喜んでいた。

体力運動能力テストの結果は、男女とも「反復横とび」・「50m走」・「ソフトボール投げ」の3項目で全国平均を越えられなかった。リズミカルに動くこと・脚力の強化・助走から上体へ力を伝えることなど、走り高跳びの学習を通して、向上していくことを期待する。

1学期のマット運動の学習での技能ポイントをもとに見合う活動では、お互いに動きを見合い、試技に近づこうと声をかけ合って練習する姿が見られた。しかし、「技能ポイントの理解が十分でなく、どこをアドバイスしてよいかわからない」「動きが早くて動きを見ることが難しい」などの課題も生まれた。水泳の学習では、伸びのある平泳ぎを目指して学習に取り組んだ結果、19人が50m泳ぐことができた。

(3) 指導観

上記の様子から、技能ポイントを理解させるために、「より高く跳ぶためのフォーム(技能ポイント)」を見つける活動を取り入れる。自由な跳び方(必ず足から着地)で跳んだあと、リズミカルな助走から高く跳んでいる映像を見せ、自分たちとどこが違うのか(同じなのか)を考えさせる。その際、「助走」「踏み切り」「空中姿勢」の3つの点を比べさせ、技能ポイントをおさえていく。技能ポイントを理解させた上で、それぞれの練習の場を経験させ、十分に跳ぶ時間を与える。そして、身長・50m走のタイムから自分の基本の目標値を計算で出し、それに挑戦させる。恐怖心なく跳ぶことを楽しむために、今回はバーの代わりにゴムを使用する。

目標値以上を目標にし、お互いにフォームを見合ったり、タブレットを使って自分の姿を見たりして、より高く跳ぶための課題を作る。そして、その課題から練習の場や方法を選び、練習を進めていく。グループのメンバーを固定し、場を移動したり、場を作ったりして、見合い・教え合いをしながら練習していく。リズミカルな助走のために、「イチ・ニー・イチ・ニー・サーン」などの口伴奏をするようにする。練習後、その日の記録測定をする。

自分にあっためあてをつかませるために、技能ポイントをしっかり理解させ、それをもとに選んだ練習の場や方法で、子どもたちがお互いに見合い・教え合いをすることで、一人一人が楽しく学習し、運動の技能を伸ばしていくであろうと考える。

4 単元の評価規準及び学習に即した評価規準

		運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
		・競争したり、目標記録に挑戦したりする楽しさ	・課題の解決の仕方を知るとともに、自	・走り高跳びでは、リズミカルな
		や喜びに触れることができるよう、陸上運動に進	分の課題に合った練習の場や方法を選ん	助走から踏み切って跳ぶことがで
È	Ě	んで取り組もうとしている。	でいる。	きる。
7	T T	・約束を守り、友達と助け合って練習や競争をし	・仲間との競争や自分の記録への挑戦の	
	平	ようとしている。	仕方を知るとともに、自分の力に合った	
10 夫	単元の平田見差	・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担	競争のルールや記録への挑戦の仕方を選	
1	丰	された役割を果たそうとしている。	んでいる。	
		・運動する場を整備したり、用具の安全を保持し		
		たりすることに気を配ろうとしている。		
		①走り高跳びに進んで取り組もうとしている。	①課題解決の仕方を知り、自分の課題に	①助走が5~7歩程度の走り高跳
		②約束を守り、友だちと助け合って練習しようと	応じた練習の場や方法を選んでいる。	びができる。
	5#	している。	②自分の記録への挑戦の仕方を知り、自	
学習活動に	年生	③用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担	分の力に合った記録への挑戦の仕方を選	
動		された役割を果たそうとしている。	んでいる。	
即				
した		①走り高跳びに進んで取り組もうとしている。	①課題解決の仕方を知り、自分の課題に	①助走が5~7歩程度の走り高跳
評価		②友だちと助け合って練習や競争をしている。	応じた練習の場や方法を選んだり、考え	びができる。
した評価規準	6 年	③場を整備したり、用具の安全に気を配ったりし	たりしている。	
华	生	ている。	②仲間との競争の仕方を知るとともに、	
			自分の力に合った競争のルールを選んで	
			いる。	

5 単元計画と評価計画(5年生)

	1	2	3	4	5				
	オリエンテーション		準備運動・補助運動						
		・いろいろな場で、	・チェックタイム→自	分の課題を見つけ、練	・練習				
	より高く跳ぶための		5~7歩の助走でリ 習の場を選ぶ。						
	ポイントを見つけよ		・チャレンジタイム→						
	う。			で練習する。					
		・オリンピックタイム→記録測定							
関心・意欲・態度	3	1	2						
思考・判断	思考・判断		①		2				
運動の技能				1	1				

6 指導と評価の計画(2学年分)

学	n±	はます。 となって、 となって、 となって、 まれ	評価計	画及び評価	 5方法
年	時	めあて・学習活動	関・意・態	思・判	技能
	めあて	学習の進め方を知り、高く跳ぶためのポイントを見つけよう			
		1 オリエンテーションを通して、学習の進め方を知る。	3		
		・学習の進め方・場の作り方・約束を教えたり、グループのメンバーを確認	観察		
		させたりする。			
	1	2 より高く跳ぶためのポイントを見つけ、確認する。			
	1	・足から着地する跳び方で、自由に跳んでみる。			
		・教師の試技や DVD の映像・模造紙の絵を見ながら、ポイント自分の動き			
		と比べ、ポイントを見つける。			
		・助走・踏み切り・空中姿勢3つの部分のポイントを確認する。			
	めあて	自分の目標記録を設定し、いろいろな練習の場を試してみよう。			
		1 自分の目標記録を計算する。	1		
		・身長・50m走タイムより、自分の目標記録を計算する。	観察		
		2 3~5歩の助走で跳び、困りを出し合う。	ワークシー		
	2	・前時に確認したポイントを意識しながら跳ぶ。	۲		
		・困ったことを出し合い、練習の場や方法を知る。			
5		3 いろいろな練習の場や方法をグループで試してみる。			
年		4 目標記録に挑戦する。			
	めあて	5~7歩のリズミカルな助走から踏み切って、高く跳ぼう。			
		1 チェックタイム お互いの動きを見合い、技能ポイントをもとに課題をもつ	2	1	
		・お互いの動きを見たり、タブレットで自分の動きを見たりして、課題をもち、	観察	ワークシ	
	3	練習の場や方法を選ぶ。	ワークシー		
	3	2 チャレンジタイム 課題に合った練習の場で、練習をする	7		
	4	・グループごとに練習をする。(必要な場を作る)			1
		・口伴奏をする。			観察
		・見合い・教え合いをしたり、タブレットで自分の動きを確認したりする。			
		3 オリンピックタイム 自己のベスト記録に挑戦する			
	めあて	自己ベスト記録に挑戦し、走り高跳びができるようになろう			
		1 グループごとに練習をする。		2	1
	5	2 ベスト記録に挑戦する。		ワークシ	観察

	めあて	学習の進め方を知り、走り高跳びのポイントを確認しよう								
		1 オリエンテーションを通して、学習の進め方を知る。	2							
		・学習の進め方・場の作り方・約束を教えたり、グループのメンバーを確認	観察							
	1	させたりする。	ワークシー							
		2 走り高跳びのポイントを確認し、跳んでみる。	 							
		3 自分の目標記録を計算する。								
6	めあて	走り高跳びゲームに挑戦しながら、記録をのばそう								
年		1 チャレンジタイム グループでお互いの動きをチェックし合い練習する	1	1						
_		・練習の場や方法を選んだり、考えたりする。	観察・ワー	ワークシ						
	2	・お互いに見合い・教え合いをしたり、タブレットで自分の動きを確認したり	クシート							
	3	する。	3	2						
	4	2 走り高跳びゲームをする グループで記録を得点化し、競争する	観察	ワークシ						
	4	・自分の目標記録より多く跳んだら○点というように、グループで得点を競う。		1						
					1					
					観察					

7 指導内容及び学習活動に即した評価規準(5年生)

・走り高跳びの学習に積極的に取り組むこと



- ①走り高跳びに進んで取り組もうとしている。
- ・前の人が跳び終わってから跳ぶ、助走 コースを横切らないなど、約束を守るこ と
- ・一緒に場を作る、口伴奏をするなど友 だちと助け合って練習すること



②約束を守り、友だちと助け合って練習 しようとしている。

- ・友だちと協力して、用具の準備や片づ けをしようとしている
- ・計測や記録など分担された仕事を熱心にしている。



③用具の準備や片付け、計測や記録など 分担された役割を果たそうとしている

- ・はさみ跳びの仕方やポイントを理解すること
- ・自分の課題をつかみ、課題に合った練習の場や方法を選ぶこと



- ①課題解決の仕方を知るとともに、自分の課題に合った練習の場や方法を選んでいる。
- ・目標とする記録の出し方を知り、目標 に向けての記録の取り方を理解するこ と



②自分の記録への挑戦の仕方を知り、自 分の力に合った記録への挑戦の仕方を 選んでいる。

- ・リズミカルな助走から上体を起こして 強く踏み切ること
- ・振り上げ足・抜き足を高く上げ跳び越えること
- ・膝を使ってやわらかく着地すること



①助走が5~7歩程度の走り高跳びができる。

8 本時の展開(4/5)

(1) 本時の目標

5~7歩のリズミカルな助走から踏み切って、高く跳ぼう。

- ・5~7歩のリズミカルな助走から上体を起こし、強く踏み切り、ゴムを跳び越えること
- ・振り上げ足・抜き足を高く上げること

(2) 本時の学習評価

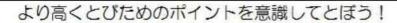
助走をいかしてふみ切り、はさみとびでゴムを跳び越えることができる。(技能)

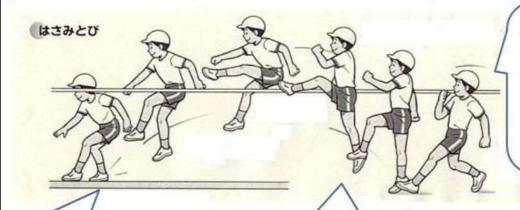
(3) 学習過程

時間	学習活動及び学習内容	評価方法及び評価規準
はじめ 10分	 集合・あいさつを行う。 準備体操・主運動につながる補助運動を行う。 ペアで振り揚げ足の練習 ・バスケットジャンプ・8の字ゴムとび 本時の目標と評価項目を確認する。 めあて:5~7歩のリズミカルな助走から踏み切って評価:助走をいかしてふみ切り、はさみとびでゴムを跳び 	
なか、30分	 4 チェックタイム・・・動きのポイントをもとに自分の課題を見つけ、練習の場や方法を選ぶ。・1人が2回跳ぶ。・跳ぶ姿をグループで見合い、課題を見つける。・タブレットを使い、自分の姿を客観的に捉える。・課題から練習の場を選ぶ。 5 チャレンジタイム・・グループで場を作り変えながら練習する。・選んだ場や方法で練習する。1人が4~5回跳んだら交代する。・グループで、それぞれの課題や動きのポイントに沿って、見合い・教え合いをする。・「イチ・ニー・イチ・ニー・サン」などの口伴奏をする。・タブレットを使い、自分の姿を客観的に捉える。 6 オリンピックタイム・記録測定をする。・1人が2回跳び、良い方をその日の記録とする。・1人が2回跳び、良い方をその日の記録とする。 	○観察による評価を行う。 おおむね満足 自分に合った高さのゴムを5~7歩 のリズミカルな助走からふみきり、は さみとびで跳ぶことができる。 十分満足 5~7歩のリズミカルな助走からふ みきり、振り上げ足・抜き足を高く上 げ、スムーズにゴムを跳び越えること ができる。 努力を要する児童への手立て ・踏み切りのタイミングが合わない児 童には、スタートの目印を置かせる。 ・抜き足が引っかかる児童には、タブ レットを使って自分の姿を見せ、抜き 足の形を意識させる。
まとめ 5分	7 整理体操を行う。8 本時のまとめを行う。・自分の課題が解決できたか振り返る。・自分や友だちの頑張りについて発表する。	

基本の運動・陸上運動「跳の運動(遊び)・走り幅跳び」

_	校種・学年			小章	学校				ф:	⊭校
厦	E .	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
		C 走・跳の。 (1)技能 イ 跳の運 前方や上方に 続して跳んだ	動遊びでは、 跳んだり、連	C 走・跳の値 (1)技能 エ 高跳び 走から踏み切: と。	では、短い助	C 陸上運動 (1)技能 工走り高跳び カルな助走から 跳ぶこと。			跳びで カルな助 く踏み な動作で	C 陸上競技 1 技能 イ 技能 を しま跳びで は、リスカ強く踏り の滑らかな空間動作 で跳ぶこと。
	学習指導要類 (解説)	イ 跳の運動を助力がある。 動力がある。 発みでいい。 おんだり、 おんだり、 はたい はんだり、 はたい はんだり、 はない はんだり、 はない はんだり、 はない はんだり、 はない はんだり、 はない はんだり、 はない はんだり、 はない という。 はない はない はない はない はない という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という	付けて片足で 方や上方に跳 や両足で連続	エ 高跳び 短い助力 <絡み切って調	もから調子よ 着く飛ぶ。	エ 走り高跳の 高跳の 高を定録が でを定録の をでは での は い い い な り い り い り い り い り い り い り い り い	可数やバーの などのい、 はたり はたり はたり はたり はたり はたり はたり はたり はたり はたり	(5) 走り 走り ガカり ガカり高 まり より より より より より より より まり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり	跳びは、 かいなりを切り、 いったがいたがいたがいたい。	(5) 走り高跳びで 走り高跳びでは、からされるのでは、かられているができる。 を リカカチンのはながいがいます。 で、ようはないがいできる。 を は で、ようにきる。
	目標とする 技能	・ケンパー跳 ・ゴム跳び遊		短い助走での	の高跳び	助走が5~走り高跳び	7歩程度の	脚と腕の分を合わせて 大きなはさる。	イミング 高み切り、 の動作で跳	はさみ跳び音面跳び
	助走	・助走をつけ ・その場で	τ	・3~5歩の約	直い助走	・リズミカル	な助走	・リズミカ スピーRE04 第6時0に称)ルな助走 リズムを登場した シウナル 動物のこと	・リズミカルな動走
-	着 踏み切り	・片足や痴足	d d	 ・ 路み切り足を 	を決めて(<mark>片</mark> 足	・上体を起こ	して踏み切る	・力強く智 助モスピード するカに変え 全体で強く助 キックすること	を効率よく上昇 るだめに、定義 固を押ずように	夏上に伸びあがるように背面跳びでは 踏み切り前の 3~5歩で弧を 描くように走る
	着地 空中動作			・膝を柔らかく から着地 ・高く跳ぶ	く曲げて、足	足から着地はさみ跳び		・跳躍の形 バーの他 合うよう	理が	・はさみ跳びや 背面跳びなどの 空間動作





助走

- ・ななめから
- ·5~7歩
- ・リズミカルに 「12 (12) 123!」
- 始めはゆっくり、あと速く

着地

- ふり上げ足から着 地する。
- ひざをやわらかく使う。

空中しせい

- ふり上げ足を高くふり上げる。
- ふみ切り足を高くふり上げる。

ふみきり

- ・足のうら全体でしっかりふみこむ。
- うでをふり上げて、体を起こす。

めあて・練習方法の例

<助走>

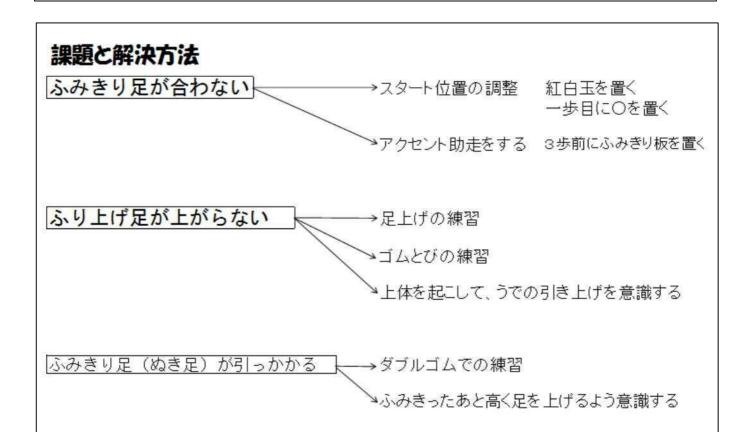
- ○リズミカルにしっかり助走する。 → 口ばんそうしてもらいながら、リズムを意識して走る。
- ○始めの2歩(4歩)をやや大またで走る。 → わっかを置く。
- ○最後の3歩をタタターンのリズムで走る。 → 最後の3歩の前にマークを置く。

くふみきり>

- ○ふみきり位置に足を合わせる。 → ふみきり位置にテープをはる。
 - → スタート位置に玉を置く。
- ○かかとからふみこむ。 → ふみきり位置にテープをはる。
- ○体を起こして上をみてふみきる。 → バスケットジャンプの練習
- ○うでのふり上げを使って体を引き上げる。 → バスケットジャンプ、その場ジャンプの練習

<空中姿勢>

- ○ふり上げ足を高く上げる。 → 足をむねにつけるようにしてとぶ。
- ○ぬき足がゴムに当たらないようにする。 → 2本ゴムでぬき足を意識してとぶ。



(別紙資料3) 戸次小 跳び箱運動技能系統表

1・2年「跳び箱を	を使った運動遊び」	3・4年「路	兆び箱運動」	5・6年「跳び箱運動」			
跳び箱を使って跳び乗り	りや跳び下りをして遊んだ	基本的な支持跳び越し技	を(切り返し系、回転系)に	基本的な支持跳び越し技(切り返し系、回転系)に			
り、馬跳びやタイヤ跳びを	として遊んだりする。	取り組み、それぞれの系に	ついて自己の能力に適した	取り組み、それぞれの系について自己の能力に適した			
		技ができるようにする。		技が安定してできるように	するとともに、その発展技		
				をできるようにする。			
【身につけさ	せたい動き】	【身につける	【身につける	させたい技】			
1年	2年	3年	4年	5年	6年		
○踏み越し跳び	○踏み越し跳び	○開脚跳び	○開脚跳び	〇安定した開脚跳び	〇安定した開脚跳び		
〇支持でまたぎ乗り	○支持でまたぎ乗り	◎かかえ込み跳び	◎大きな開脚跳び	〇大きな開脚跳び	○大きな開脚跳び		
○またぎ下り	○またぎ下り		◎かかえ込み跳び	○かかえ込み跳び	〇かかえ込み跳び		
○支持で跳び乗り	○支持で跳び乗り						
○跳び下り	○跳び下り	〇台上前転	〇台上前転	〇安定した台上前転	〇安定した台上前転		
○馬跳び	○馬跳び		◎大きな台上前転	〇大きな台上前転	〇大きな台上前転		
○タイヤ跳び	○タイヤ跳び				◎首はね跳び		
	□横跳び越し				◎頭はね跳び		
				*ペアでリズムを合わせ	*ペアやグループでリズ		
				て跳ぶ	ムを合わせて跳ぶ		
				*連続して調子よく跳ぶ	*連続して縦や横から跳		
					151		

◎ 発展技

2016 年度作成